第193号 2025(令和7)年 10月8日



ふれあい

発行所:鳥取県人権教育推進協議会 〒680-0846 鳥取市扇町21番地

> 鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内 TEL: 0857(22)0578/FAX: 0857(22)0593 URL: http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治

第50回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

8月1日(金)「第50回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」が、メイン会場を鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)とし、鳥取県立博物館、鳥取市民会館をサテラ

イト会場に開催されました。午前中は、鳥取 大学地域学部准教授呉永鎬さんの講演を中 心とした全体会、午後は、報告者の発表に基 づいた質疑・討議が行われ、約500名の参加 者が集いました。各市町村から参加していた だいた報告者、司会者、研究推進委員、そし て当日運営に関わっていただいたボランティア関係者の皆様には、大変お世話になりま した。

そして、実行委員会、企画運営委員会、基調提案作成委員会等の委員の皆様にも、年度

当初から研究集会の円滑な運営に関して、熱心な意見交換をしていただきました。関係者皆様のご支援とご協力に対しまして、心から御礼申し上げます。

参加者の皆様からは、「この集会は、学びの場であった。自らの差別性を問い直す良い機会であった」とか、「報告者の熱い思いを聞くことができ、学ぶべきことが多かった」「50





回の大会が成立して嬉しい。人権問題は、世界の中でしっかり研究され、今日の社会が成り立っていることがよくわかった。だからこそ、このような研修の場が必要ではないだろうか」等の意見がたくさんありました。アンケート結果から、全体会では95.1%の参加者の皆様(無回答者除)の肯定的な評価をいただきました。

今後も関係諸機関・団体等との連携を 密にしながら、参加者の皆様が人権問題 を自分の課題としてとらえ、その解決に 向けて、自らのくらしや生き方を変えて いこうとする実践行動につながるよう な研究集会になるよう努力していきた いと思います。

第76回全国人権・同和教育研究大会(兵庫・大阪大会)

第76回全国人権・同和教育研究大会について

◇開催地◇ 兵庫県・大阪府に分散して開催

◇期 日◇ 2025年11月29日(土)、11月30日(日)

全国各地で取り組まれている人権・同和教育の実践を交流し、学び合う研究大会です。

鳥取県からの報告者、役員は右のとおりに決まりました。3名の方々には、公私にご多忙の中、大変お世話になります。

開催要項は、関係各所に送付しています。参加希望の方で、参加申込希望・質問等ありましたら、鳥取県人権教育推進協議会までお問合せください。「第76回全国・人権教育研究大会」分科・分散会の大会報告一覧は、10月末頃にWebで掲

◆報告者

・認定 NPO 法人ハーモニィカレッジ 大堀 貴士さん 「あなたは あなたのままで すばらしい」

◆分科会·分散会

・第4分科会 人権確立をめざすまちづくり (予定)

◆実践報告協力者(司会)

- ・進路・学力保障部会 岡垣 祐二 さん【鳥取中央育英高校】
- 人権確立をめざすまちづくり部会 福壽 みどり さん

【(公財)鳥取市人権情報センター】

載される予定です。収容人数枠が決まっていますので早めの申し込みをお願いします。なお、 参加券は各会場でも購入可能となっています。

第76回全国人権·同和教育研究大会会場

第1分科会:学校教育部会 関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス) 第2分科会:自主活動 エル・おおさか(大阪府立労働センター)

第3分科会:進路・学力保障 近畿大学(東大阪キャンパス)

第4分科会:人権確立をめざすまちづくり 大阪公立大学(杉本キャンパス)

【問い合わせ先】

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館) 鳥取県人権教育推進協議会事務局

電話 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593

編集後記念

期間限定ではありましたが、新たな試みとして動画配信サイトで「第50回人権尊重社会を 実現する鳥取県研究集会」の全体会の様子を動画配信しました。個人・職場での研修に役立 てたいというご意見もあり、動画視聴者数は698人、動画視聴回数は1,753回になりました。

先日、ふれあい会館において研究集会の総括会議を行いました。実施状況や参加された皆



様からのアンケート・各分散会総括の場での意見、要望等もとに話合いました。全体会・分散会の内容以外にも会場運営委員の運営のあり方や東部地区高校生ボランティアの受付業務のすばらしい働きぶり等、多くの意見が出されました。来年度の研究集会に活かしていきたいと思います。